



愛知 県
板金工業組合

名古屋市昭和区
北山町3-8-6
電話 732-1226
発行 広報委員会

第一回 板協青年部
全国建築技術コンクール

名古屋西支部 松代一郎氏
"第1位入賞"

愛板先月号でお知らせした通り平成3年2月23日・24日の2日間山梨県中小企業人材開発センターで開催された建築技術コンクールに、3名の組合員が参加し腕を競った。松代一郎氏が見事入賞を果たされた。



この吉報を知ったのは平野理事長が会長を勤めるS1研親会という勉強会で3月14日に、淀川製鋼福井工場を見学した夜の懇親会の席で、理事長から紹介されたからである。このコンクールは、

日本建築板金協会が主催するもので、建築の様式や工法の変化に対応した施工技術の向上と有能技術者を建築板金業界に確保し、建設業界の振興発展に寄与する目的で今年から開催された。その第1回のスタートを、輝かしい1位入賞で飾られたことは愛知県板の誇りでもある。このコンクールの課題は、鋼板製屋根一文字葺きの施工図を描くことである。

松代氏によれば、このコンクールの事を知ったのは、1月中旬に全板新聞を読んで見た時で、一度出場してみたかと思っただけで1ヶ月後に迫っていたので、参加者も決まっ

ているものと思っ

た。1月27日新春板金セミナーの会場で、前青年部長の野田氏から「建築技術コンクールの出場選手を2月3日の青年部幹事会で決めるが候補者がいない場合は、松代君に出場してほしい」と依頼があった。出場が決まったのは2月12日でした。コンクールの当日までは、一枚くらい製図練習をしておきたかったが当日となってしまった。



第1回日板協青年部全国建築技術コンクール

参加選手の名簿に關連資格が記入されていて、見てびっくりした。1級建築士2名、2級建築士が私を含めて5名、2級施工管理技師1名、年齢も26才から43才の私まで多彩。開会式には、全板連理事長を初め、山梨県甲府市関係者、建設省労働省の方々の挨拶があり、今回から始まる建築技術コンクールに寄せる期待の大きさに責任を感じ、大変な大会に参加してしまっただけ出せるか不安になった。

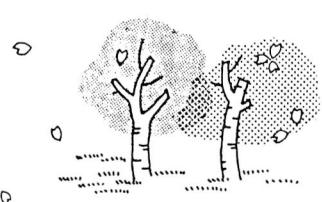


最初の試みに挑戦 (NYAC)

開会式終了後、製図道具の点検、競技場を下見して1日目を終了。翌24日は、この冬一番の冷え込みとなった。富士山の見える会場には、8時前に入ったが広い会場なので寒くて大変だった。8時15分スタート。課題は5間×4間の切り妻屋根に2間×1間の出庇屋根がある木造2階建て住宅の屋根で

か、詳細図が一面欠けていた図面もあった。そんな中に一枚大変美しく書けていた図面があった。閉会式では、「競技大会の結果にこだわらず、今大会に参加して全力を尽くしたことが大切ですよ」との大会会長の挨拶で、私もほっとした。3月11日に県板より1位入賞の連絡があり私自身びっくりした。先に書いたように、一人素晴らしく綺麗に書いた図面があったからこの記事は松代氏から資料をいただいた。驚見がまともでした。尚、松代一郎氏の表彰は5月16日徳島県「徳島市立体育館」で開催する、第43回全板大会で表彰されます。

鋼板製一文字葺き屋根の施工図を書くこと。木下地はコンパネ12mmとし、屋根材と下地の取り合い、また屋根材の簡単な割り付けが判別できるように作図すること。軒先・棟・けらば等の各詳細図を作図する事。スタートして30分ぐらいいは、手が震えて思うように進まず、屋根伏せ図が縮尺：100であるため、一文字の葺き足が2mm×8mmを40枚書いたが苦労した。軒先・棟・けらばの各詳細図は縮尺が1:3と大



支部だより

「総会」賢島で開く

江南支部

昨年総会で事業計画を改正した江南支部は3月17、18日の両日での幸一杯の賢島一泊旅行で総会を開催しました。日頃慣れない余所行き服装で出発地江南駅へ向う。早朝から平野理事長様の見送りを受けて「感激又恐縮」して江南を出発。車内では全板連の年金基金の説明が日本生命様からあり、紙面だけでは理解しずらく関心を抱いていただけに良く分かり、序でに二日酔も



吹っ飛んだノ一行は銅板葺きを最近為されたと見える樺大社、伊勢神宮を参拝し昼食は松阪で牛肉を腹十二分食べお酒も進み車中では「カラオケ」となり時間も忘れる位楽しく過ごし今宵一夜を過ごすホテルに到着、早速総会に移った。前度の通りの議事もスムーズに進行し新役員さんには、支部長 今井文夫氏 副支部長 石井輝恵氏 計 川瀬清元氏 広報委員 石川鐘吾氏

と決まり来賓の早川専務理事様に祝辞を頂き又年金の事を詳しく説明して頂き納得し総会を無事終了、一日の疲れをお風呂で流し宴会と入る。お膳には海の幸が一杯でコンパニオンも宴に色を添えた。お酒飲み放題でありカラオケありダンスありで一夜を有意義に過ごし床に入った。二日目は大王崎を散策し昼食では、始めて食べた船上バーベキューで躍りだすエビには皆さん手

定例総会開催

東三支部

春うららかな日ともいえる暖かさ、桜の花もふくらみ、花見気分誘い出されそうに、

春日の日である。定例総会が3月20日豊橋西部にあたる高千穂会館に於て、午前10

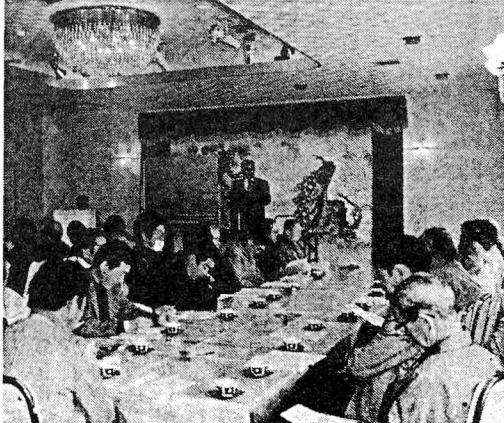
時より行われました。司会の二村副部長のもとで、組合長挨拶、その後議長選出に入り、大友堅治氏が選ばれ、議事に入りました。審議も順調な滑り出し、全員一致にて可決成立されました。新役員の選出に入りました。役員選出にあたり南部の森田氏から今までの結果報告があり、現役員一任と言うことで、組合長より発表され、副部長兼会計の鈴木一男氏が選出されました。

新組合長 鈴木一男
副部長兼会計山口保史
副部長 伊藤栄二
副部長 水谷正勝氏
それぞれ平成三年度の役員です。

新組合長の抱負を語っていたとき、計画案も話されました。その後質疑応答に入り、一時間程あまりありました。時間が中味、皆さんの質問が中味の濃い問題ばかりあつたというまででした。12時頃終了され、その後パーティを開き旧組合長に感謝状が贈られ、赤川氏の音頭で始まり、役員さんの労をねぎらい2時過ぎ解散となりました。

東三青年部の役員を紹介させていただきます。昨年は異例の早さで「泡戦争」が加熱気味。昨年流行語にもなった

スポーツ



- 新部長 河辺信次
- 副部長 津田雅章
- 副部長 福山健一
- 会計 伊藤元裕

どうかよろしくお願
いします。
東三 脇坂

「一番搾り」の二匹目のドジョウをねらって二月早々から、ビール業界新製品続出。「ピア吟生穀やぶり」「吟仕込」「プレミアム」などなど。

昨年の販売量は及びんで約百三億本とか。新製品続出で店頭に並ぶビールの銘柄数は輸入品も含め、なんと百三十三種もあるという。バブル経済は崩壊したが、こちらの方も本来のうまいビールの味が崩壊しないか、ビール党には少々心配な現象ですよ。

「工事カメラK35」を富士写真フィルムが発売。もともと工事用は出回っていたがこのカメラは砂やほこりに強く、水洗いもできる。手袋をはめたまま操作できるように巻き上げレバーなどを大きく作ってある。焦点は手動露出は自動で二万四千八百円。

